

徳次郎石研究会の2019（令和元）年度の活動

2019（令和元）年5月15日に、宇都宮市立富屋市民センターにおいて「徳次郎石研究会」が発足しました。その当初の構成メンバーは、郷土史研究家、建築・美術や地質・岩石の研究者など多方面の専門家・研究者で、その後にもこの活動に関心をもつ方々がメンバーとなっております。

今年度では、まず徳次郎石の現況を確認するために「日光石」採石場跡の調査を実施するとともに、徳次郎石を活用している建築物を富屋地区の状況を確認しました。その後、現地での野外調査、試料採取、歴史資料文献収集などをすすめて、その成果を公開の場で発表しました。さらに、それぞれの専門分野での調査研究活動をすすめて、年度末での活動成果集の作成をすすめた。

なお、この徳次郎石を含めて類似の凝灰岩を「大谷石」として扱う場合がありますが、これは「広義の大谷石」とします。これに比して石産地ごとに扱うこともあり、この場合は狭義の岩石名となり、徳次郎石はこれにあたります。また別に、栃木県（野州）全体の採石文化を「野州石造文化（圏）」にとらえて扱う場合などもあります。

今回の成果をもとに、さらに今後の徳次郎石研究の集大成につなげていく糧とし、あわせて、歴史・街づくり等の地域貢献、地域おこしなどにご活用いただければと思います。また、本冊子の内容でお気づきの点等の情報がございましたら、ご連絡いただければ幸いです。また、この活動に関心をお持ちの方の参加を歓迎しております。

徳次郎石研究会の活動概略

- 2019（令和元）年5月15日 徳次郎石研究会創立
(於：宇都宮市立富屋市民センター)
- 2019（令和元）年6月18日 徳次郎山事前調査
- 2019（令和元）年6月26日 下野新聞に徳次郎石研究会が紹介される
- 2019（令和元）年9月13日 中間報告会（於：宇都宮市立富屋市民センター）
- 2019（令和元）年11月13日 徳次郎石標本採集
(栃木県立博物館・徳次郎石研究会 共同事業)
- 2019（令和元）年11月25日 徳次郎石造建築物一般見学会
- 2020（令和2）年3月31日 徳次郎石研究会成果発表会要素集発刊

徳次郎石研究会構成員

- | | |
|--------------------|--------------------|
| 相田 吉昭（宇都宮大学農学部教授） | 池田 貞夫（宇都宮市文化財調査員） |
| 薄井 香淑（栃木県立博物館） | 柏村 勇二（栃木県立博物館） |
| 小林 基澄（宇都宮大学安森研究室） | 今平 利幸（栃木県考古学会員） |
| 酒井豊三郎（宇都宮大学名誉教授） | 中川 博夫（元宇都宮市立富屋公民館） |
| 中村 洋一（宇都宮大学名誉教授） | 橋本 優子（宇都宮美術館） |
| 安森 亮雄（宇都宮大学工学部准教授） | 吉田 貴洋（栃木県立博物館） |